



本社・工場

第69期

第2四半期決算のご報告

2020年8月21日～2021年2月20日



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地
TEL (076) 267-5111(代) FAX (076) 267-8065
URL <https://www.fuku.co.jp/>

福島印刷株式会社

証券コード 7870

株主のみなさまへ



代表取締役社長 ^{しもはた} 下島 ^{まなぶ} 学

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第69期第2四半期累計期間(2020年8月21日から2021年2月20日まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する各種政策の効果もあり、持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況にあります。今後

も国内外の新型コロナウイルス感染症の動向、国内景気への影響など、先行き不透明な状況が続いており、予断を許さない状況にあります。

印刷業界におきましては、依然としてWeb化等による印刷需要の減少が続くなか、競争激化による受注価格下落の影響が顕著化するなど、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は引続き最新鋭の印刷機等設備導入により生

産体制の強化を図るとともに、DP(データプリント)サービスの製品開発やサービスの充実、販売マネジメントの強化による創注や原価構造改善に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は38億56百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。利益面については、営業利益は51百万円(前年同四半期比142.1%増)、経常利益は62百万円(前年同四半期比145.4%増)、四半期純利益は37百万円(前年同四半期比189.0%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は景気の回復基調が続きましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により国内外の経済環境が急速に悪化するなど、景気の先行きには予断を許さない状況が続いております。当社といたしましては、今後とも最新鋭の印刷・加工設備の導入や、「さいたまサテライト」の有効活用による生産体制の増強、品質保証と情報セキュリ

ティ体制の継続強化を図るとともに、独自技術によるDP(データプリント)を中心としたサービスを強化し、さらなる差別化を推進してまいります。営業面におきましては引き続き大都市圏での販売力強化とともに、「ならでは商品」に注力した提案活動の強化により、業績の向上を図る所存であります。

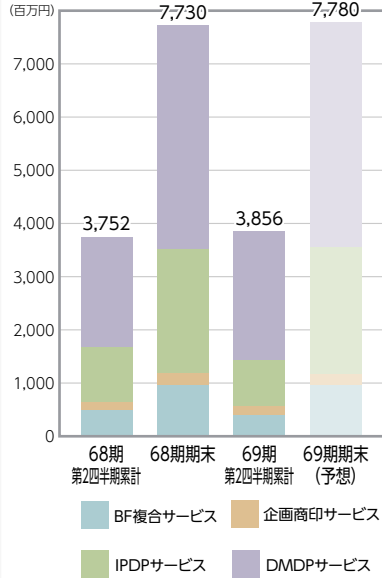
なお、通期の業績予想につきましては、売上高77億80百万円、営業利益1億44百万円、経常利益1億56百万円、当期純利益1億1百万円と見込んでおります。

また、中間配当につきましては、2021年3月26日開催の取締役会において、1株当たり6円と決議しており、期末配当とあわせて年12円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

製品分野別売上高

製品分野別売上高



福島印刷の

4分野による複合サービスの実現

当社は情報発信のパートナーとして、「コミュニケーション エイジェント」という新しいビジネスモデルを目指しています。お客様の情報発信は多様で、その手段、ツールにも様々な選択肢があります。そこからお客様視点に立ち多様な可能性を求めて、4つのサービス形態を整備拡張しています。

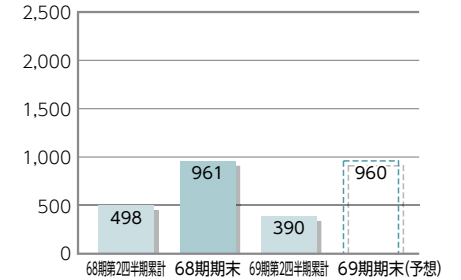
BF(ビジネスフォーム)複合サービス

- コンピュータ用帳票
- 一般帳票
- シール・ラベル など



BF複合サービスは、コンピュータ用帳票に代表される機械加工を伴った帳票印刷分野です。Web化に伴うペーパーレス化が進み、市場全体での需要量の減少傾向が続いていることから、売上高は前年同四半期を1億7百万円(21.6%)下回る3億90百万円となりました。

売上高 (単位: 百万円)



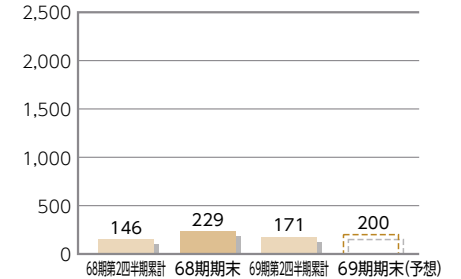
企画商印サービス

- 広告宣伝用印刷
- マニュアル印刷 など



企画商印サービスは、パンフレットやカタログに代表されるビジュアル印刷物の分野です。オフセット印刷による冊子類は減少しましたがデジタル印刷技術を駆使した販促ツールの受託の結果、売上高は前年同四半期を24百万円(16.9%)上回る1億71百万円となりました。

売上高 (単位: 百万円)



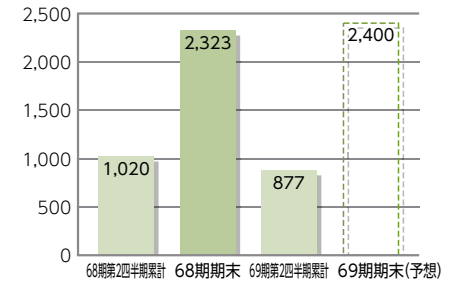
IPDP (インフォメーションプロセッシング データプリント) サービス

- 請求書等発行処理受託
- 各種行政サービス印字処理
- 各種通知案内印字処理受託 など



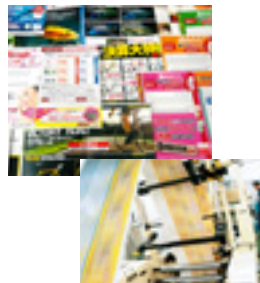
IPDPサービスは、企業が定期的に発送する請求書や官公庁が住民に発送する各種通知書など、事務通知書類のデータプリントから、封入封緘などの後処理、メール発送までを代行するサービス分野です。コロナ禍におきましても必要となる通知物が堅調に推移する反面、医療機関におけるデータヘルス関連の通知物が優先順位として劣後となった結果、売上高は前年同四半期を1億43百万円(14.1%)下回る8億77百万円となりました。

売上高 (単位: 百万円)



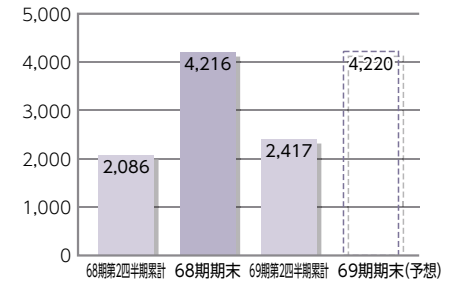
DMDP (ダイレクトメールデータプリント) サービス

- ダイレクトメール
- ダイレクトメール処理受託
- データベースオンデマンド印刷 など



DMDPサービスは、お客様の顧客データベースが進化するなかで、有力な販促物を提供するサービス分野として発展しました。オフセット印刷仕様の減少が大きいながらも、デジタル印刷技術で企画の高度化に対応できたことにより、売上高は前年同四半期を3億30百万円(15.8%)上回る24億17百万円となりました。

売上高 (単位: 百万円)



当社「ならでは」の取り組み

新設備導入によるメーリングサービスの拡大

最新型高精細ロール式インクジェット印刷機の増設



ノズルチェック機能で異常を自動検知し本番印刷前の段取り時間を削減

2021年2月に当社主力機である高精細ロール式インクジェット印刷機「Truepress Jet520HD」の本社工場3台目の稼働を開始いたしました。主に当機で生産を行う当社主力製品のメーリングパックサービスの発行通数は前年比110%以上の成長を毎年キープしております。背景には、技術研究を重ねさらに高品質な印刷を実現したことや、選択可能な用紙を追加し特にバリアブルDMのマットコート紙での需要が増加したことがあり、さらなる受注拡大に向け増設を決定しました。

さいたまサテライト工場と合わせて計4台の当機を最大限に活用するため、引き続き機器ベンダーの協力を得ながら技術研究を重ねております。自動ノズルチェック機能の導入により、従来は用紙交換時に必要だったテスト印刷が不要になり、段取り時間の削減や用紙歩留まりの向上が進んでおります。また現在は、検査装置の改良により、誤検知を大幅に減らし稼働停止時間を削減する研究を進め、高品質を維持しながら生産性向上に取り組んでおります。

設備増設、その後… 加工機にモノクロ印字をインライン化 ハイブリッドMSL

●バージョンアップしたハイブリッドMSLで高精度を要求される製品の取り込みも可能に

2019年に2台目の増設を行ったハイブリッドMSLは、印字可能サイズの拡張による新仕様の取り込みや、印字の際に表裏のマッチングを確認するシーケンスログ管理導入によるセキュリティ面の強化により、順調に生産量を伸ばしております。加工機とプリンタが一つになった当機の導入当初は、加工オペレーター、プリンタオペレーターがそれぞれの技術の違いに戸惑いながらも安定稼働に向けて協力体制を築き、今年1月には1,200万部もの大型案件を無事納品できました。用紙の張りを自動調整する「オートテンション機能」やカット位置を自動調整する「見当調整機能」といった新しい技術を大いに活用して、高精度を要求される製品の取り込み等、更なる生産量拡大を目指します。



品質保証の取り組み

情報加工、情報発信のお手伝い業態としての責任を果たすため、継続的な努力の仕組みづくり、経営体制づくりの実現を目指しております。

■お客様から信頼し続けていただくために「再発防止対策実施レポート」提出

製品に関する重大な事故が発生した際、書面により再発防止対策の実施をお約束しております。その実施結果を自ら発信しオープンにすることで、お客様に安心していただくために「再発防止対策レポート」提出の取り組みを開始いたしました。

このレポートは、重大事故の顛末書・対策書提出の半年後を目途に品質保証部門が中心となって作成し、作業者の行為保証(目的をもった動作の保証)や管理者の職場運営強化といった、お約束した再発防止対策の実施経過報告をまとめています。このようにレポートという形で説明責任を果たそうとする姿勢は、継続して改善に取り組むための原動力となっています。コロナ禍により直接当社をご視察いただく機会が激減した現在、レポート提出による説明機会を、ご迷惑をおかけしたお客様との重要な接点の一つと考えております。引き続き当社の製品・サービスを安心して使い続けていただくために、事故事例から学び、改善を行うことで品質保証の強化を図ってまいります。

主幹部門より / 今後の継続取組など (お客様との約束)	
今後は、適用した対策が実施され、適切に運用されていること、運用上の異常は迅速に検出し、継続的な改善を行うことをお約束します。	
1. P【計画】とD【実施】	対策実施を、全社的な強化指定期取り組みとしました。 * 取組開始時期 ~2021/8/20 (期末日) * 実施状況を月次で確認し、継続的に運用改善を図ります。 ・適用件数 (目標値設定2.0点) ・実施効果 (分かりやすさの追求)
2. C【異常への気づき】	管理者による対策適用分を全点確認：運用状況監視 (実施中)
3. A【是正処置→改善実施と結果報告】	期末に品質保証部門へ対策及び改善の評価報告書実施

「再発防止対策レポート」より一部抜粋

人材育成の取り組み

2020年10月、当社管理職およびチーフ職を対象に『運協アワード2020』を開催いたしました。これは、1年間での優れたプロジェクトを選出し、代表者が取り組み内容をプレゼンテーションした後に参加者による投票と顕彰を行うというものです。業態転換の中で進むスキル・業務の多様化を背景に、職場を超えたチーム活動を社員間で評価し合い、相互理解を深める場として2019年に引き続き2回目の開催となりました。

今年のアワードでは以下のテーマが最優秀賞を受賞しました。

※取組賞は部門長推薦、LA(ラーニングアニマル)賞は事業執行委員会による推薦から選出しています。

取組最優秀賞 都市圏営業部 山口 順子

「七転び八起き 生販で掴んだメインパートナーポジション」

LA最優秀賞 生産技術部 吉田 大輔

「運用設計ガイドラインの制定について」

今年は、東京、大阪、さいたまとテレビ会議で中継を結び、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開催となりました。コロナ禍で急速に変化する現実も機会としてとらえ、当社が今後どのような役立ちができるのかといった新たなチャレンジについて共有することができました。



2020年の取組賞受賞者

財務諸表

■ 四半期貸借対照表

(2021年2月20日現在)

科目	前事業年度末	当第2四半期 会計期間末
【資産の部】		
流動資産	2,547,886	2,791,308
現金及び預金	969,145	802,471
受取手形及び売掛金	964,007	1,138,180
電子記録債権	254,084	448,409
製品	99,446	138,224
仕掛品	139,800	143,303
原材料及び貯蔵品	81,313	84,951
未取還付法人税等	3,104	—
その他	37,426	36,341
貸倒引当金	△442	△572
固定資産	4,634,914	4,443,187
有形固定資産	4,129,531	3,974,818
建物(純額)	1,228,256	1,229,342
機械及び装置(純額)	1,304,479	1,233,011
土地	965,106	965,106
リース資産(純額)	494,009	400,986
その他(純額)	137,680	146,371
無形固定資産	196,498	175,760
投資その他の資産	308,884	292,607
資産合計	7,182,800	7,234,495

単位:千円

科目	前事業年度末	当第2四半期 会計期間末
【負債の部】		
流動負債	1,527,042	1,630,931
買掛金	295,665	463,221
短期借入金	340,040	460,040
リース債務	212,014	173,882
未払法人税等	15,219	30,633
賞与引当金	92,359	62,749
役員賞与引当金	11,000	5,496
その他	560,743	434,908
固定負債	783,745	738,053
長期借入金	234,870	226,520
リース債務	339,341	274,416
退職給付引当金	154,953	182,536
資産除去債務	13,895	13,895
その他	40,685	40,685
負債合計	2,310,787	2,368,984
【純資産の部】		
株主資本	4,819,931	4,821,293
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
利益剰余金	4,074,844	4,076,206
自己株式	△113	△113
評価・換算差額等	52,082	44,217
その他有価証券評価差額金	52,082	44,217
純資産合計	4,872,013	4,865,510
負債純資産合計	7,182,800	7,234,495

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期損益計算書

(2020年8月21日から2021年2月20日まで)

単位:千円

科目	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間
売上高	3,752,878	3,856,715
売上原価	3,037,570	3,131,332
売上総利益	715,308	725,382
販売費及び一般管理費	694,208	674,303
営業利益	21,099	51,079
営業外収益	9,909	17,221
受取利息	8	5
受取配当金	1,181	1,143
作業くず売却益	5,717	4,758
助成金収入	—	4,247
その他	3,002	7,066
営業外費用	5,456	5,588
支払利息	5,448	5,588
その他	8	—
経常利益	25,552	62,712
特別損失	82	2,606
固定資産除却損	82	2,606
税引前四半期純利益	25,470	60,106
法人税、住民税及び事業税	1,200	14,700
法人税等調整額	11,341	8,046
四半期純利益	12,929	37,360

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(2020年8月21日から2021年2月20日まで)

単位:千円

科目	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,131	110,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,482	△203,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237,908	△34,135
現金及び現金同等物の増減額	△12,260	△127,374
現金及び現金同等物の期首残高	541,746	911,545
現金及び現金同等物の 四半期末残高	529,486	784,171

(記載金額は千円未満切捨)



(上段、左より) 堺、松井、平野、中村、竹村
(下段、左より) 下島、福島、松谷

役員 (2021年4月23日現在)

代表取締役会長	福島理夫	取締役	堺嘉弘
代表取締役社長	下島学	常勤監査役	平野信昭
常務取締役	松谷裕	監査役	中村俊介
取締役	松井睦	監査役	竹村裕樹

会社の概要

商号	福島印刷株式会社
英文名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076) 267-5111(代)
設立	昭和27年9月10日
資本金	4億6,000万円
従業員数	454名
事業所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 東京営業部 東京都千代田区鍛冶町1丁目5番7号 江原ビルディング9F 西日本営業部 大阪市淀川区宮原5丁目1番28号 新大阪八千代ビル別館8F 富山営業所 富山市上袋708番地1 福井営業所 福井市和田東2丁目1718番地 さいたまサテライト さいたま市桜区町谷1-4-1 株式会社廣済堂さいたま工場内

株式についてのご案内

事業年度 8月21日から翌年8月20日まで
 定時株主総会 11月
 基準日 定時株主総会 8月20日
 期末配当 8月20日
 中間配当 2月20日
 その他必要があるときは、予め公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

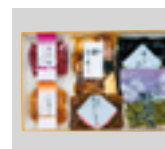
単元株式数 100株
 上場証券取引所 名古屋証券取引所
 公告方法 電子公告により当社ホームページ (<https://www.fuku.co.jp/>) に掲載いたします。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。

株主優待制度 8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、自社指定の株主優待を、ご希望に応じてお選びいただけます。

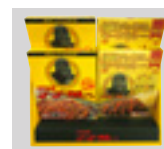
2020年優待品



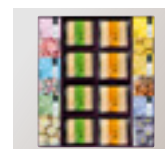
金沢五郎島金時



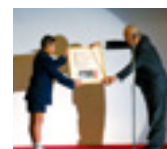
四十萬谷本舗
特選詰合せ



金沢
ゴーゴーカレーセット



加賀麩不室屋
「いろどり宝の麩」



ざぶん賞へ寄付